

第19回 ジャパンオープンハンドボルトーナメント 戦 評 報 告 書

競技日	平成26年 8月10日	試合番号	A-つ
種別・回戦	男子・2回戦	会場	河南総合体育館

えふえすていー F S T			えいちしーくまもと H C 熊本			得点チェック欄	
32	15	前半	16	34	前半	<input checked="" type="checkbox"/>	
	12	後半	11		後半	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2	第1延長 前半	3		第1延長	<input checked="" type="checkbox"/>	
	3	第1延長 後半	4		第2延長	<input checked="" type="checkbox"/>	
		第2延長 前半			7mTC	<input type="checkbox"/>	
		第2延長 後半			合計点	<input type="checkbox"/>	
		7mTC			記録主任確認	<input type="checkbox"/>	

戦評	戦評委員氏名	阪田 祐二
<p>F S Tのスローオフで始まった。H C 熊本7番平田のロングシュートで先制点をあげた。立ち上がりから両チームの点の取り合いとなった。9分まで6対6のシーソーゲームだった。9分すぎにH C 熊本14番山田が速攻で7点目をあげてから小康状態が続いた。13分F S T 7番香田が退場となりその間にH C 熊本が3連続得点をあげて点差を開けた。15分にF S Tはタイムアウトをとり気持ちを切り替えた。F S T 14番のロングシュート等がきまり始め点差を詰めていった。前半はH C 熊本の1点リードで終了した。</p> <p>後半F S T 4番井上のロングシュートで同点に追いついた後、10分すぎまで両チーム相譲らずシーソーゲームが続いた。中盤H C 熊本のラフプレーが目立ち退場者が続いた隙にF S Tが3点差をつけてリードした。一時4点差をつけられていたH C 熊本が相手ミスからの速攻で同点に追いつき延長戦に突入した。</p> <p>延長戦前半両チーム点を取り合うが終盤H C 熊本4番松岡が速攻をきめ1点リードした。延長戦後半H C 熊本が3点差をつけ残り2分でF S Tがワンツーマンディフェンスで応戦したが34対32でH C 熊本が勝利した。</p>		

送信担当記録委員	川久保 恵理
----------	--------